



留学生と語り合う No. 88

RKK ニュース (2022 年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

2022 年度スローガンは
「RKK の原点を踏まえ、新たなボランティア活動を！」

2022 年 5 月 5 日に神奈川県民センターで RKK 通常総会を開催いたしました。本年も、昨年と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小人数の参加による簡易型総会でした。会員の皆さんからは、書面表決の形で、議案に賛成いただき、無事、総会を終えることができました。

2022 年度 活動指針：

- ・RKK 発足時の原点を振り返り、その精神を重んじるも、過去にあまりとらわれない、自由な発想で活動に取り組む。
- ・RKK の基本は「留学生とのコミュニケーションを深めること」にある。
- ・「活動を活性化する創意工夫」を求める。

2022 年度 重点活動目標：

- ・新型コロナ感染防止に配慮した安全な行動
- ・ICT 推進委員会によるオンライン活用支援
- ・活動のニーズに沿った広報の推進
- ・外国語学習グループに中国語講座とベトナム語講座を併設
- ・会員の活性化を目指した地区交流会活動の充実強化
- ・全体課題への対応を検討する運営懇談会の開催

The slogan for FY2022 is
"Develop new volunteer activities, keeping in mind the origin of RKK!"

The RKK Annual General Meeting was held at the Kanagawa Prefectural Center on May 5. Just as last year, this year's meeting was a brief one with a small group to prevent the spread of the new coronavirus. RKK members voted for the proposals in writing, and we finished the meeting without any problems.

Activity Guidelines for FY2022：

- ・ We will work on the activities with free ideas which are less influenced by past, while looking back at the origins of RKK and respecting its spirit.
- ・ The basis of RKK is to deepen communication with international students.
- ・ We will promote originality and ingenuity to activate our activities.

Priority Activity Targets for FY2022：

- ・ Safe behaviors with consideration for prevention of new coronavirus infections.
- ・ Providing online support by ICT Promotion Committee.
- ・ Promotion of public relations suited to the needs of activities.
- ・ Foreign language study group has two language courses: Chinese and Vietnamese.
- ・ Enhancement of activities of area exchange meetings aiming at revitalization of members.
- ・ Holding management meetings to discuss our issues in general. (Translated by Azusa Sugita)

お知らせ 【社会・工場見学G】

見学先：① 防災体験学習施設 そなエリア東京 ② 日本科学未来館

【日時・集合場所】2022 年 9 月 14 日(水) 10 時 45 分 ゆりかもめ有明駅

【会費】留学生 500 円/会員 700 円/一般 1,000 円

有明→テレコムセンター運賃と昼食は自己負担です

【受付】 mail: rsknk0227@gmail.com (永作) Fax: 045-361-7343(山口)

〈申し込み締め切り; 9 月 4 日〉 詳細 [NPO RKK](#) [検索](#)

留学生からのたより

MY EXPERIENCE IN JAPAN

横浜国立大学大学院 Lucy Mariel Lopez Quiroga (Bolivia)



My experience with Japanese culture began in Bolivia, in 2013, back then the International Cooperation Agency of Japan (JICA) was preparing the study “Master Plan to Improvement Transport in Metropolitan Area of Santa Cruz” and I was a technician in the departmental government, so that first encounter let me know kindness, respect and collaborative Japanese soul. It has been almost 8 years since that encounter. I arrived in Japan in November 2021, to study at Yokohama National University. It was winter and I enjoyed vibrant colors of Sumire flowers, warm flavors of ramen soup and walking across Yokohama Bay. Spring came to show me beautiful Cherry blossoms, I tasted candy and cakes. Furthermore, I had chance to know soft and sweet Japanese hospitality, through my profess Sakura ores, tutors, sempais, classmates, and lovely Ootake San. Nowadays, I spend time knowing, learning and understanding about history, language, culture and daily life.

Today, I can assure that Japan is a place where you can enjoy technology and traditions, at the same time, respect for nature and love for peace.

日本語支援 G

私の日本語支援

湘南地区 鈴木 市男

私はRKKに2017年9月に入会して留学生に日本語学習支援を始めてからこの9月で5年になります。インドネシア人、インド人、そして、現在三人目のインド人留学生と交流をしていますが、彼らはいずれもJICAの慶応大学留学生です。私の支援は主に日常会話ですが、少しでも彼らに日本を好きになって貰いたいとの思いから、悩み相談、ストレス解消のための昼食会なども行っています。

コロナ前のゴールデンウィークに彼らと行った箱根ドライブ、日本そば店での昼食、そして日帰り温泉での裸の付き合いは私にとってとても懐かしい思い出です。また、日本で大きな地震が発生した時には帰国した留学生から安否確認のメールが届くこともあります。それがとてもうれしく彼らに関わってよかったと思える瞬間でもあります。

コロナ禍の現在はインド人留学生にオンラインで毎週日曜日に約二時間程度の日本語学習支援を実施しています。教材はみんなの日本語（英語版）を使用、もうすぐ初級Ⅱが終了するところです。しかし、彼の家族がコロナに感染したときには暫くの間、彼の精神状況がとても不安定で日本語学習支援を中断せざるを得ませんでした。また、彼は現在ドクターコースの研究論文作成に追われる日々で、教材を使用した支援がやや停滞気味です。それでも彼に時間的余裕がある時は気分転換を兼ねて私の自宅まで足を運んで貰っての学習支援を行っています。その後は最寄り駅近くの日本料理屋で昼食会をする等、最近は対面の交流もできるようになってきました。

彼は来年の3月には慶応大学を卒業予定ですが、帰国か日本に留まるかまだ迷っているようです。もし彼が日本滞在を選択し自分を必要とするならば引き続き支援していきたいとも考えています。

地区からのたより

元気な皆さまにお会いして

北地区 松井 直子

北地区では4月17日(日)に旭区活動センター「みなくる」で9の方が参加されて、久しぶりに対面による交流会を持ちました。コロナ禍の中でこの2年間の皆様の生活の様子など報告し合いました。どの方もとても意欲的に、有意義に過ごされていらした事を知りすごく刺激になりました。

個人的な活動として

- ・水泳に力を入れ、週3回泳ぎ、1回につき1km泳げるようになった。
- ・Zoomによる読書会に参加し、リアルの反応を体験できた。
- ・3Dプリンターでおもちゃをつくったり、おもちゃを治したりして子どもたちから喜ばれている。

会での活動として

- ・社会見学会の20年間の資料を70日間かけてまとめ、ホームページにも掲載できた。
- ・Vietnam語学習会を立ち上げ、11人の方たちと授業を楽しんでいる。
- ・仕事も留学生との交流もon lineで行い、外に出ない日も多くなったが、順調に進んでいる。
- ・自分のやりたい課題を持参する留学生もいて、充実した日本語支援を続けている。
- ・留学生とZoomを通して家族ぐるみでお付き合いをしている。

今後のRKKの活動の在り方(意見交換)

- ・YouTubeなどを利用してオンラインでの教材の紹介などがあるとよい。
- ・現役の留学生だけではなく、卒業後も自国に戻っても、交流できるように支援の幅を広げる事ができたらよい。顔を見ながら反応を見ながらの交流会は、楽しく感じました。

地域活動への参加

西地区 前田六生



今回は、2018年から参加している明学大「戸塚まつり」を振り返ってみます。西地区にある大学との関係作りを目指し、明学大事務局・横浜管理部に接触し始めたのは2016年です。進展があったのは1年後で、富志乃会員の指導を受けている留学生の箏演奏で催しに参加する事を決め、翌年5月に張恬さん、劉幼婷さんが演奏しました。今年コロナ禍の影響で去年に続き「ビデオ録画」での参加となりました。録画

編集は昨年担当して頂いた下村会員の負傷で暗礁に乗り上げかけましたが、岩瀬会員が下村会員の協力のもと、100時間以上もかけて立派に仕上げてくださいました。今や「とつかお結び広場パフォーマンス企画」への参加と共に、文化F交流G活動の1つとして、継続参加が望ましいと思います。RKKの共有財産として管理すべく <https://youtu.be/ynRSDjm9Ds4> での配信も行いましたので、会員以外の地域住民の皆様にもご覧頂けると期待しています。そして、張恬さんに次ぐ新たな留学生演奏者が誕生して欲しいものです。

以上

外国語学習 G

RKK 中国語教室新任講師としての抱負

横浜国立大学大学院 権 明 (中国)

皆さん、こんにちは！中国吉林省出身の権明と申します。現在、横浜国立大学で、経済学を専攻しています。2021年、年末、初めてRKKと出会い、布津先生のご紹介で鳥越先生の下で日本語のご指導を受けています。

そして、また布津先生のご推薦で、RKK中国語教室の皆さんと出会い、2022年3月5日からRKK中国語教室の中国語講師を担当することになりました。

私自身は、中国人に向けて韓国語を教えた経験はありましたが、中国語を教えた経験はあまり有りませんでした。しかも外国人向けの授業は初めてでしたので、どのように授業を進めていくのか、とても楽しみであると同時に、不安でもありました。

しかし、そんな不安を持つのは全然必要のないものでした。初回目の授業で、皆さんの活発な発言や質問、また授業の内容と進め方に対する意見・commentなどを聞いて、私は皆さんの中国語勉強に対する情熱がとても感じられました。

また、毎回授業の前に、私が送った資料をきちんと予習して授業に参加して下さる皆さんの真剣さと中国語を学びたい意欲に、いつも感心しています。

そして、授業が始まった初期に、オンライン授業用のミーティングツールについて、選定する必要がありました。そこで、皆さんと一緒に最良の案を見出すために何回も試し、安定するまで紆余曲折を経ましたが、その過程で更に、皆さんの中国語の勉強に対する意欲と情熱が感じられました。

今までRKK中国語教室で、私は新任講師として14回目の授業になりますが、未だに、毎回の授業が新鮮に感じられ、どうしたら皆さんに適した授業の内容や進め方になるのかを探し・学びながら毎週の授業を進めています。

学ぶ人にとって、何よりももっとも重要な学びの意欲と情熱を持ちながら、いつも授業に参加して下さる皆さんと一緒に、私もこのRKK中国語教室で、新任講師として、情熱を持ち全力を尽くしていきたいと思えます。



新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

萩谷 正治（横浜市旭区）（敬称略）

文化・ファミリー交流G

平塚七夕まつり



文化・ファミリー交流G 徳屋英生

covid-19 禍のため過去2回中止となった七夕祭りを3年ぶりに開催しました。

平塚市も感染予防対策として屋台、食べ歩き等を禁止し当会もワクチン接種の義務付け、マスク着用、アルコール消毒の徹底を図りました。



今年度の開催は八幡山の洋館で、風情のある会場

には総勢38人（日本人会員16人非会員1人、横浜国大留学生とその家族9人、フェリス女学院大学12人）が参加しました。

留学生の出身国はアジア、欧州、アフリカ、南米など12か国に上りました。女子学生は浴衣を着用し百花繚乱で花畑のようでした。

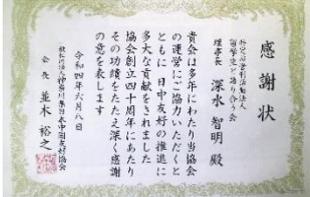
短冊の飾りつけ、七夕紹介、自己紹介などの簡略な話し合いの後、八幡宮で茅の輪くぐりの体験、参拝を行い記念写真撮影を行って解散しました。その後七夕会場を散策し美しい七夕飾りを見物しながら日本の夏祭りを楽しみました。

トピックス

神奈川県日中友好協会から感謝状

NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明

このたび神奈川県日中友好協会の創立40周年記念祝賀会（2022年6月8日）において、RKKは“事業協力者”として感謝状を授与されました。



それは、RKKの多くの中国留学生支援・交流、中国留学生学友会への参加、中国語の普及等の実績によるものです。先のRKKニュース（No. 79）で報告のように、RKKの活動について、当協会の要請により「交歓のつどい」での紹介、また広報誌「日中友好の輪」への寄稿を通じ、留学生への積極的な支援・交流などをPRしました。因みに、この記念祝賀会には、黒岩知事、孔 鉉佑中国大使をはじめ、神奈川県の関係者が多く参加され、RKKを少しはアピールできたかと思えます。

表彰は、同様の活動団体ではRKKのみでした。今後共、留学生支援を通じて広く国際親善の活動を進めたいものです。

会員皆様の活動によって、RKKの留学生支援、国際交流が広く周知されたことを素直に喜ばしく、感謝申し上げます。

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂けます。

ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。 (企画委員会)



キャリア支援委員会

「キャリア支援オンライン読書会」の試行結果と“サロン”への移行について

キャリア支援委員会 岩瀬暢男

オンライン読書会は2021年度において構想検討と9回の試行を実施し、その結果2022年度からは「オンラインサロン」が委員会の活動に相応しいとの結論に至りましたので、ここに経緯の概要をお知らせします。

読書会で採り上げた書籍名(◎印)および話し合いテーマ名(○印)を以下に列挙します。

- ◎「博士になったらどう生きる?—78名が語るキャリアパス—」
- ◎「…78名が語るキャリアパス」からの1例
- ◎「『親活』の非ススメ—”親というキャリア”の危うさ—」
- 私の就活—偶然がチャンス—
- ◎「人は見た目が9割」
- 「留学生の進路」コロナ禍で変わったか～神奈川県大学在籍留学生調査から～
- キャリア支援意見交換
- ◎「いま、求められている人材とは?」
- ◎「ジョブ型雇用社会とは何か」



平均4名(累計37名)の参加があり、時間は各回とも1時間以内としました。オンラインでは各参加者が発言できる時間と会話の交通整理などが心配されますが、参加人数が運用容易な範囲だったこともあり、意見交流が深くできて満足ゆく結果となりました。

読書会では書籍の内容とそれに関連した関心事項への意見交換を中心に進めてきましたが、もっと自由に、より気安く意見交流をしたいとの希望を抱く結果を生んできましたことから、サロン(談話会)のような形態への移行が決まりました。

2022年度より「キャリア支援オンラインサロン」として実施してきました2回の話題は次のようでした。

- ◇「MOOC(大規模公開オンライン講座)と留学生」ほか自由話題
- ◇「インターンシップ、就業体験、職場体験の中身」ほか自由話題

当面は委員会スタッフのみによるキャリア支援の一助としての活動となりますが、RKK全会員が自由に参加できる姿を視野に入れての運用・運営方法の検討を進めています。

以上

おもな活動(2022/5 から 2022/7 まで)

通常総会・理事会

- ◇5/5 午後、新型コロナウイルス感染防止推進中のため、神奈川県民活動サポートセンター711号室にて、参加人数を制限した簡易形式の理事会と第13回通常総会を開催し、議案は承認された。本年度のスローガンは、「RKKの原点を踏まえ、新たなボランティア活動を！」とした。

スタッフミーティング

- ◇6/26 に対面式の2022年度第1回スタッフミーティングを開催。コロナ禍のなか、14人のスタッフが参加し、2022年度新スタッフ体制の確認とC&C(報告、連絡、相談)を実施。

活動グループ

- ◇日本語支援G: オンラインを主体とした1対1の日本語学習支援を推進。
- ◇文化・ファミリー交流G: 5/29、明学「戸塚まつり」で琴演奏の動画をYou Tubeで配信。
7/9 湘南七夕まつりに、留学生とその家族17人を含め総勢38人が参加。
- ◇外国語学習G: 中国語講座(9人受講)とベトナム語講座(11人受講)が併設される。
- ◇社会・工場見学G: 9月の見学会を企画検討。

地区交流会

- ◇東地区: 6/12にオンライン交流会を実施。11人が参加。
- ◇西地区: 4/24に対面式交流会を実施。7人が参加。
- ◇南地区: 5/15に留学生1人を含め6人でオンライン交流会を実施。
- ◇北地区: 4/17に対面式交流会を実施。9人参加。
- ◇中央地区: 6/12に留学生1人を含め6人で対面式交流会と会食を実施。
- ◇湘南地区: 6/23に対面式交流会を実施。14人が参加。

委員会

- ◇会員委員会: 新規入会者受入れ窓口、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会: RKKニュース88号の編集。HPの更新。
- ◇キャリア支援委員会: 5月、6月に「キャリア支援オンラインサロン」の予行演習を実施。
- ◇企画委員会: ベトナム語学習会は、外国語学習Gに移管。
- ◇会計委員会: 年会費の徴収、収支決算・事業計画予算作成。
- ◇ICT推進委員会: オンライン支援、動画教材紹介などの検討。関連情報のメール配信。
- ◇事務室: 事業計画・議案書作成・総会開催。NPO事業報告書の作成と提出。「しおり」の編集。

RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

掲載ホームページ: http://rkk.world.coocan.jp/NPO_RKK

上記のURLを左クリック、または巻末のQRコードを読み取ってください。

広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援（留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします）
- ・文化・ファミリー交流（フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます）
- ・社会・工場見学（工場見学、名所のハイキングに行きます）
- ・外国語学習（留学生が先生となって中国語、ベトナム語を勉強します）

RKK の活動に興味をお持ちの方は巻末のQRコードを読み取るか、[RKK npo](#) で検索してRKKのホームページにアクセスしてください。会報や最近の行事案内などをご覧になれます。入会フォームはホームページ「入会案内」から入手できます。

広報委員会スタッフを募集します

- おもな活動
- ・ホームページ管理
 - ・RKK ニュース編集発行作業
 - ・発送ラベル作成
 - ・その他 RKK 広報活動

留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・日常会話(Daily Conversation) ・ビジネス会話(Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田 (Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp
Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

NPO法人 留学生と語り合う会



連絡先 : 〒245 - 0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦
Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327
ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers
RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 夏号担当 西岡誉富 July 31, 2022

無断転載をお断りします